



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月5日

上場会社名 静岡瓦斯株式会社

上場取引所 東

コード番号 9543 URL <http://www.shizuokagas.co.jp/>

代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 岩崎 清悟

問合せ先 責任者(役職名) コーポレートサービス部 経理担当マネジャー (氏名) 森田 将信 TEL (054) 284 - 7990

四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 平成22年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	59,565	6.7	3,902	△ 75.0	3,966	△ 74.5	2,190	△ 74.8
21年12月期第2四半期	55,845	—	15,611	—	15,558	—	8,697	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	28.76	—
21年12月期第2四半期	116.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	113,300	54,252	41.2	612.77
21年12月期	114,092	52,206	39.4	590.64

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 46,657百万円 21年12月期 44,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年12月期	—	5.00	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	4.00	9.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：有

平成22年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 記念配当1円00銭(創立100周年記念配当)

平成22年5月7日公表の決算短信に記載した配当予想を修正しております。なお当該配当予想の修正の詳細につきましては、本日平成22年8月5日公表の「剰余金の配当(創立100周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,170	21.0	6,130	△ 49.6	6,140	△ 49.5	3,810	△ 41.0	50.03

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年12月期2Q	76,192,950株	21年12月期	76,192,950株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

22年12月期2Q	50,761株	21年12月期	50,296株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

22年12月期2Q	76,142,522株	21年12月期2Q	74,672,609株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月7日公表の決算短信に記載した平成22年12月期(平成22年1月1日～平成22年12月31日)の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当社の四半期連結財務諸表に記載される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間から百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

(参考) 個別業績予想

平成22年12月期の個別業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,570	25.6	2,300	△ 35.7	2,360	△ 34.8	1,970	△ 21.4	25.87

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 参考情報	11
(1) 四半期個別経営成績等の概況	11
(2) ガス販売量(個別)	11

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成22年8月6日(金)・・・・・・機関投資家向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(平成22年1月～6月)は、原料費調整制度により前年同期に比べガスの販売単価は低めに推移したものの、県外への広域卸売りの開始等によりガス販売量が大幅に増加したことなどから、ガス売上高は前年同期に比べ32億円増の504億円となり、LPG・その他エネルギー売上高及びその他売上高を加えた連結売上高全体では同37億円増の595億円となりました。また、上記販売単価低下の影響に加え原油価格上昇による原材料費の増加等により、営業利益は同117億円減の39億円、経常利益は同115億円減の39億円、四半期純利益は同65億円減の21億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、販売量の増加に伴い売掛金が増加し、第3号LNG貯槽の稼働開始により原料在庫が増加する一方、これら運転資金需要に対応した現金及び預金の取り崩しや、減価償却が進んだことによる有形固定資産の減少等により、平成21年12月期末と比べ7億円減の1,133億円となりました。

負債は、運転資金の増加等により借入金は増加しましたが、買掛金や未払金、未払法人税等の減少等により28億円減の590億円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから20億円増の542億円となり、自己資本比率は41.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、平成21年12月期末に比べ43億円減の7億円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローとその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

減価償却前利益は103億円となりましたが、ガス販売量の増加に伴う売上債権の増加、第3号LNG貯槽の稼働開始によるたな卸資産の増加、原料代金決済のタイミングによる仕入債務の減少等による運転資金需要の増加に加え、法人税等の支払額の増加等により、営業活動によるキャッシュ・フローは55億円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

袖師基地第3期拡張工事の支払いやガス導管網の拡張・整備等の設備投資を行ったことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは43億円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

運転資金需要増加を短期借入金で対応したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは56億円の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また第3四半期以降の原油価格、為替レートの想定を見直したことなどにより、通期の業績予想を修正いたしました。この結果、売上高は1,201億円、営業利益及び経常利益は61億円、当期純利益は38億円となる見通しです。

(参考) 原油価格・為替レートの想定

原油価格 (全日本CIF)	前回想定	83ドル/bbl (第3～4四半期)
	今回想定	78ドル/bbl (第3四半期) 80ドル/bbl (第4四半期)
為替レート	前回想定	93円/ドル (第3～4四半期)
	今回想定	90円/ドル (第3四半期) 93円/ドル (第4四半期)

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(ハ) 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主として工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間から適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

この変更による損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	31,934	20,420
供給設備	34,257	35,811
業務設備	3,951	4,057
その他の設備	5,163	5,299
建設仮勘定	2,257	14,316
有形固定資産合計	77,564	79,905
無形固定資産	1,599	1,598
投資その他の資産		
投資有価証券	7,372	7,658
長期貸付金	3,258	2,472
繰延税金資産	1,670	1,623
その他投資	880	839
貸倒引当金	△293	△297
投資その他の資産合計	12,888	12,296
固定資産合計	92,053	93,800
流動資産		
現金及び預金	764	5,075
受取手形及び売掛金	9,442	6,898
商品及び製品	345	319
原材料及び貯蔵品	7,122	4,286
繰延税金資産	1,672	1,666
その他流動資産	1,957	2,098
貸倒引当金	△58	△53
流動資産合計	21,247	20,292
資産合計	113,300	114,092

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	33,234	32,392
繰延税金負債	26	33
退職給付引当金	2,845	3,045
ガスホルダー修繕引当金	221	206
負ののれん	842	960
その他固定負債	619	791
固定負債合計	37,790	37,429
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	5,311	6,050
買掛金	5,138	9,715
短期借入金	5,872	41
未払金	889	2,342
未払法人税等	2,040	3,656
賞与引当金	450	445
その他流動負債	1,555	2,205
流動負債合計	21,257	24,457
負債合計	59,048	61,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,589	4,589
利益剰余金	33,986	32,100
自己株式	△26	△25
株主資本合計	44,828	42,943
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,829	2,025
繰延ヘッジ損益	—	4
評価・換算差額等合計	1,829	2,029
少数株主持分	7,594	7,233
純資産合計	54,252	52,206
負債純資産合計	113,300	114,092

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	55,845	59,565
売上原価	28,047	43,614
売上総利益	27,797	15,950
供給販売費及び一般管理費	12,186	12,048
営業利益	15,611	3,902
営業外収益		
受取利息	32	34
受取配当金	88	92
負ののれん償却額	100	122
雑収入	127	164
営業外収益合計	348	413
営業外費用		
支払利息	392	335
雑支出	9	13
営業外費用合計	401	349
経常利益	15,558	3,966
特別利益		
ガス熱量変更引当金取崩し	57	—
投資有価証券売却益	—	1
移転補償金	—	73
特別利益合計	57	75
特別損失		
固定資産売却損	—	2
投資有価証券評価損	—	10
退職給付制度改定損	261	—
特別損失合計	261	13
税金等調整前四半期純利益	15,354	4,028
法人税等	5,268	1,457
少数株主利益	1,389	380
四半期純利益	8,697	2,190

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,354	4,028
減価償却費	5,750	6,347
長期前払費用償却額	1	—
繰延資産償却額	46	—
負ののれん償却額	△100	△122
有形固定資産除却損	202	33
投資有価証券評価損益(△は益)	—	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△632	△199
ガスホルダー修繕引当金の増減額(△は減少)	17	15
賞与引当金の増減額(△は減少)	8	5
ガス熱量変更引当金の増減額(△は減少)	△57	—
受取利息及び受取配当金	△120	△126
支払利息	392	335
有形固定資産売却損益(△は益)	—	2
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1
売上債権の増減額(△は増加)	1,727	△2,540
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,811	△2,859
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,346	△4,634
未払又は未収消費税等の増減額	968	△1,739
その他	321	△724
小計	21,332	△2,169
利息及び配当金の受取額	121	127
利息の支払額	△401	△341
法人税等の支払額	△512	△3,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,540	△5,595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17	△19
定期預金の払戻による収入	136	22
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,480	△4,681
有形及び無形固定資産の売却による収入	5	5
投資有価証券の取得による支出	△335	△19
投資有価証券の売却による収入	—	11
貸付けによる支出	—	△900
貸付金の回収による収入	136	114
工事負担金等受入による収入	206	272
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	628	—
その他	△1,875	865
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,594	△4,327

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7,680	5,830
長期借入れによる収入	2,900	3,150
長期借入金の返済による支出	△3,966	△3,046
配当金の支払額	△221	△304
少数株主への配当金の支払額	△10	△13
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,978	5,615
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,966	△4,308
現金及び現金同等物の期首残高	698	5,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,665	738

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	ガス	LPG・その他エネルギー	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	46,916	5,328	3,600	55,845	—	55,845
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	270	128	2,859	3,258	(3,258)	—
計	47,187	5,456	6,459	59,103	(3,258)	55,845
営業利益又は営業損失(△)	16,801	774	△107	17,469	(1,857)	15,611

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	ガス	LPG・その他エネルギー	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	50,064	5,931	3,569	59,565	—	59,565
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	374	167	2,639	3,181	(3,181)	—
計	50,438	6,098	6,208	62,746	(3,181)	59,565
営業利益又は営業損失(△)	4,717	632	△18	5,331	(1,429)	3,902

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 四半期個別経営成績等の概況(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	52,810	8.7	1,208	△85.6	1,382	△83.7	983	△82.3
21年12月期第2四半期	48,577	—	8,405	—	8,471	—	5,570	—

	総資産	純資産
	百万円	百万円
22年12月期第2四半期	93,833	28,567
21年12月期	90,505	28,082

四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象となりません。四半期個別財務諸表は四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

(2) ガス販売量(個別)

		当第2四半期 (22/1～22/6)	前年同四半期 (21/1～21/6)	増減	増減率(%)	
お客さま数		戸	315,775	316,447	△672	△0.2
ガ ス 販 売 量	家庭用	千m ³	55,128	53,657	1,471	2.7
	商業用	〃	16,262	15,984	279	1.7
	工業用	〃	334,229	285,514	48,715	17.1
	その他用	〃	16,358	15,518	840	5.4
	卸売	〃	250,928	90,751	160,176	176.5
合計		〃	672,905	461,424	211,481	45.8
大口販売量		〃	329,724	284,326	45,398	16.0

(注) 1 「お客さま数」は、期末取付メーター数を記載しております。

2 「お客さま数」には、卸売先のお客さま数は含みません。

3 販売量は1m³当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入して表示しております。